

祝 胆沢ダム竣工! ~ 石淵ダムから胆沢ダムへ ~

河川課

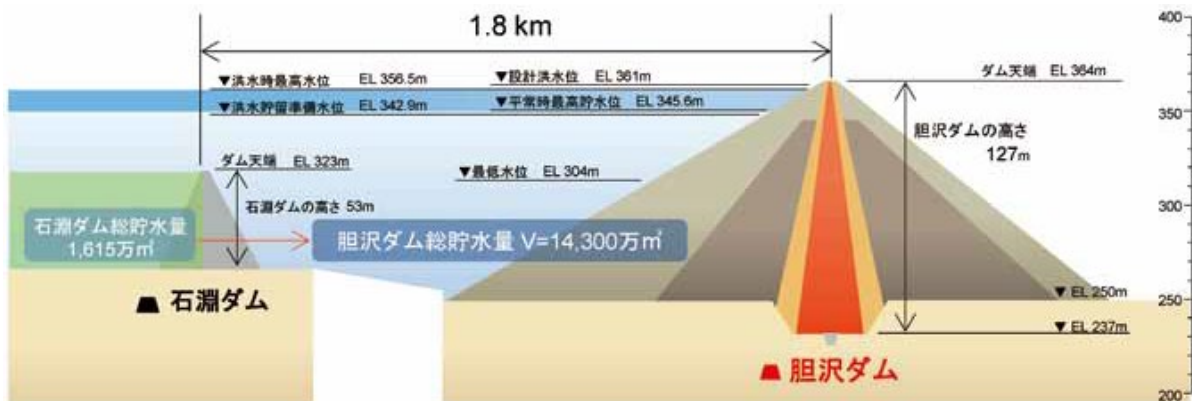
北上川五大ダムのうち昭和28年に竣工した石淵ダムは、地域の発展に大きな役割を果たしてきましたが、ダムの規模が小さいことから増加する農業用水や生活用水の水需要と、近年の相次ぐ洪水被害への対応が困難になっていました。

このことから、国土交通省では石淵ダムの再開発事業として、昭和58年に実施計画調査を開始し胆沢ダムの建設が進められてきましたが、このたび竣工を迎えたものです。

胆沢ダムの役割

- 頻発する北上川・胆沢川の水害を軽減する【洪水調整】
ダム地点の計画高水流量 2,250m³/sのうち2,210m³/sの洪水調整を行う
- 胆沢平野の安定した営農環境を整える【かんがい用水】
胆沢川沿川の約9,700haの農地に対するかんがい用水の補給を行う
- 奥州市・金ヶ崎町の安定した生活環境を整える【水道用水】
奥州金ヶ崎行政事務組合（1市1町）に対し、日最大46,800m³の水道用水の補給を行う
- クリーンなエネルギーを供給する【発電】
胆沢第一（電源開発）・第三（岩手県企業局）においてそれぞれ最大14,200kW・1,500kWの発電を行う
- 北上川・胆沢川の河川環境を保全する【正常流量】
動植物の保護、既得用水等の安定供給など、河川を正常に維持するための補給を行う

石淵ダムと胆沢ダムの比較

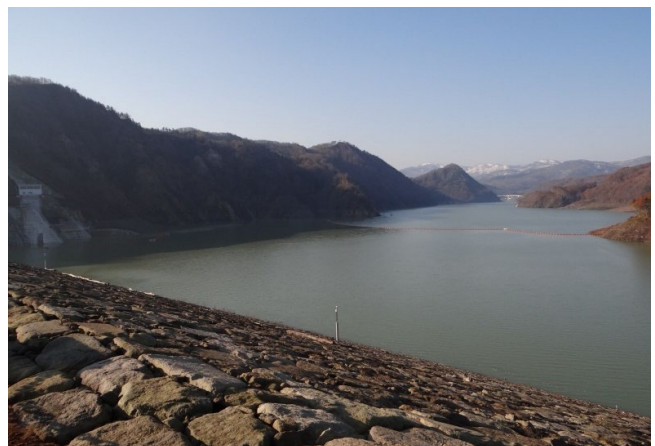


諸元	石淵ダム	胆沢ダム
形式	表面遮水壁型ロックフィルダム	中央コア型ロックフィルダム
堤頂標高(EL.m)	323.0	364.0
堤高(m)	53.0	127.0
堤頂長(m)	345.0	723.0
堤体積(m ³)	44万	1,350万
湛水面積(km ²)	1.1	4.4
総貯水容量(m ³)	1,615万	1億4,300万

平成 25 年 5 月 6 日 洪水時最高水位到達



平成 25 年 11 月 16 日 竣工式当日の胆沢ダム



平成 25 年 11 月 22 日 胆沢ダム



(写真提供：胆沢ダム工事事務所)